

平成29年度当初予算のポイント

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

社会経済のグローバル化や人口減少、少子高齢化の進展など社会情勢が大きく変化する中、教育そのもの、また教育を取り巻く課題は多岐にわたり、加えて複雑化・深刻化しています。このような中、三重の子どもたちには、生きる喜びを感じながら、志を持って夢を実現させていく力や、他者と支え合いながら、社会を創っていく力を育てていく必要があります。また、いじめや暴力行為、不登校、貧困などの課題に対応し、児童生徒の安全・安心を確保するため、学校の組織力を高めるとともに、家庭や地域と一体となった取組を一層進めていくことが求められています。

教育委員会では、このような認識のもと、平成29年度は、次の5項目について重点的に取り組むこととし、予算編成にあたりました。

(1) 学力の向上

平成28年度全国学力・学習状況調査では、小中学校合わせた8教科中3教科で全国の平均正答率以上となり、無解答率もこれまでになく大きな改善がみられました。また、児童生徒質問紙の結果からは、子どもたちの自己肯定感が高まってきていることが分かります。

今後も、みえの学力向上県民運動セカンドステージの取組を推進します。学校では年間を通じた全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セット等の計画的な活用や教育支援事務所を中心としたオーダーメイドの支援等を通して、授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により対応が難しい問題については、地域による学習支援等により、地域で支えるという方向性を基本として取り組んでいきます。

(2) グローカル人材の育成

サミットの資産を次世代に継承していくため、子どもたちが自らの考えを伝え、自らのアイデンティティを持ちながら異なる文化・伝統に立脚する人々と協働したり、海外に触れる機会を充実させ、外国語で積極的にコミュニケーションを図る力や、地域の課題に対し考え行動する意欲・態度を育み、地球規模の視野で物事を考え地域の視点に立って行動し、将来社会で活躍できるグローバルな人材を育成します。

(3) 特別支援教育の推進

三重県特別支援教育推進基本計画に基づき、県立子ども心身発達医療センターに併設する県立かがやき特別支援学校の開校など特別支援学校の施設整備を行うとともに、早期からの一貫した支援体制の構築や障がいのある子どもたちの自立と社会参画に向けた取組を進めるなど、インクルーシブ教育の理念をふまえながら、これまで以上に医療や福祉等の関係機関と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進します。

(4) 子どもの体力向上

就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善、体力向上に向けた学校等の取組を支援することにより、子どもの体力向上を図ります。また、平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催に向けた準備を進めます。

(5) 誰もが安心できる学び場づくりと心の教育の推進

いじめや暴力行為、不登校、貧困などの課題に対応するため、スクールカウンセラーの効果的な活用とともに、スクールソーシャルワーカーを増員し、教育と福祉をつなぐ取組を進めます。また、自他の生命を尊重する教育など道徳の時間を要として学校教育全体で心の教育を推進し、よりよく生きようとする意欲と実践力を高めます。

また、高等学校等での教育費の負担軽減や学校における防災教育・防災対策の充実など、子どもたちが安心して学べる環境づくりを推進します。

2 主な重点項目

(1) 学力の向上

① みえの学力向上県民運動推進事業

961 千円

みえの学力向上県民運動セカンドステージにおいて、引き続き、推進会議を開催し、取組の検証・改善を進めます。また、学校では、授業改善等の取組を深め、家庭では生活習慣等チェックシートの活用等による生活習慣の確立等の取組を広げ、地域では学習支援等により、地域で支えるという方向性を基本として、県民力を結集し、取組を推進します。

② 学力向上支援事業

40,865 千円

効果的な少人数指導の実践的研究とその成果の共有を進め、個に応じた指導の充実を図ります。また、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果や子どもつまずきに対応したワークシートの年間を通した計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善により、子どもの達成感に結びつけ、学習意欲の向上を図ります。

③ 少人数教育推進事業

1,455,365 千円

国の制度による小学校1年生の35人学級編制のもと、本県独自の取組である小学校1、2年生での30人学級（下限25人）および中学校1年生での35人学級（下限25人、実情に応じて2年生あるいは3年生に弾力的に振替可）を実施するとともに、国の定数を活用し、小学校2年生の36人以上学級の解消を図ります。

また、小中学校において、ティーム・ティーチングや習熟度別などの少人数授業を実施するための教員を配置し、各学校の実情に応じた学力向上の取組を支援するなど、効果的な少人数指導の実践研究の成果を生かしたきめ細かな教育を推進します。

- ④ **三重県型コミュニティ・スクール構築事業** 14,618 千円
 地域の実情に応じ、住民等が学校運営や教育活動に参画・協働するコミュニティ・スクール等の拡充を図ります。また、地域未来塾を実施する市町を拡充するなど、児童生徒の学習習慣の確立と学力の向上につながる取組を推進します。
- ⑤ **小中学校指導業務運営活動費** 3,697 千円
 本庁と教育支援事務所が連携し、市町教育委員会および小中学校を訪問して、地域の実情に即した学力向上の取組を支援します。
- ⑥ **教職員研修事業** 32,893 千円
 主体的・対話的で深い学びの充実を図る教員の実践的指導力の向上や、英語教育に携わるすべての教員の英語力向上をめざす研修を実施します。また、経験年数や職種に応じた悉皆研修、教職経験の異なる教員の相互研さんによる授業実践研修等を実施し、教員の授業力や専門性の向上を図ります。

(2) グローカル人材の育成

- ① **(一部新) 世界へはばたく高校生育成支援事業** 32,381 千円
 高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人育成塾や、英語キャンプ、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決力を育むため、小中高生が探究的な活動を実践し、その成果を発表するみえ自然科学フォーラムを実施します。
- ② **(新) 明日へつなぐグローバルチャレンジ推進事業** 3,824 千円
 <事業実施期間：平成 29 年度～平成 31 年度>
 郷土に関する英語による補助教材を作成するとともに、英語キャンプ、イングリッシュデー、ワン・ペーパー・コンテストを開催することにより、語学力やコミュニケーション能力等に加え、郷土三重についての学習を深め、英語で積極的に発信できる力を育みます。
- ③ **みえの担い手育成推進事業** 43,761 千円
 小・中・高等学校を通じて、組織的・系統的なキャリア教育の充実、地域の仕事に対する児童生徒の理解促進、外部人材を活用した職場定着支援等に取り組み、地域の担い手育成を推進します。

- ④ (一部新) 未来を拓く職業人育成事業 6,488千円
高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミット(仮称)を開催するとともに、地域活性化に参画する高校生の取組を支援します。また、食関連産業や観光業等と連携した取組を支援します。

- ⑤ (一部新)「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業 23,781千円
国際的な感覚と広い視野を持ち、将来、果敢に何事にも挑戦し産業界で活躍できる人材を育成するため、職業学科の生徒を対象に、アジア圏にある県内企業の海外工場や欧米のレストラン等で実習等を行う海外インターンシップを実施します。また、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。

⑥ 専攻科設置にかかる事業

- ・ 専攻科設置準備事業 22,882千円
- ・ (再掲) 校舎その他建築費(専攻科設置分) 305,726千円

県立四日市工業高等学校への専攻科設置に必要な学習環境を整備するとともに、産業界のニーズをふまえた教育課程等について検討を進めます。

(3) 特別支援教育の推進

- ① 早期からの一貫した教育支援体制整備事業 18,158千円

特別な支援を必要とする児童生徒の自立と社会参画に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その可能性を最大限に伸ばすため、パーソナルカルテの活用促進や指導・支援に係る研修会の実施など、支援体制の充実を図ります。

- ② 特別支援学校メディカル・サポート事業 8,857千円

医療的ケアの必要な児童生徒が身体的に安定した状態で教育活動に参加でき、付き添う保護者の負担が軽減されるよう、常勤講師(看護師免許所有)および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、医師等と連携した校内支援体制の充実を図ります。

- ③ 特別支援学校就労推進事業 6,055千円

特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、特別支援学校版キャリア教育プログラムの作成と活用、教育課程の見直し、外部人材の活用等を図るとともに、企業、関係機関等と連携することで、高等部生徒の進路希望を実現します。

- ④ 特別支援学校施設建築費 1,557,552千円

県立松阪あゆみ特別支援学校の建設や既存施設の老朽化対策など、教育環境向上のための整備を進めます。

- ⑤ **特別支援学校学習環境等基盤整備事業** 164,577千円
県立かがやき特別支援学校（分校）、県立松阪あゆみ特別支援学校の建設に伴う備品等の整備を進めます。

(4) 子どもの体力向上

- ① **みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業** 11,885 千円
就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善、体力向上に向けた学校等の取組を支援することにより、子どもたちの体力向上を図ります。
- ② **みえ子どもの元気アップ運動部活動充実事業** 6,224 千円
地域のスポーツ指導者を中学校、高等学校に派遣し、運動部活動の取組を充実させるとともに、指導者の指導力向上を図るため、研修会を開催します。
- ③ **平成 30 年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業** 93,028 千円
平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の開催に向け、三重県実行委員会を中心に、会場地市町、関係機関・団体等と連携して準備を進めるとともに、機運の醸成を図るため、効果的な啓発活動に取り組みます。

(5) 誰もが安心できる学び場づくりと心の教育の推進

- ① **スクールカウンセラー等活用事業** 251,065 千円
いじめや暴力行為、不登校、貧困等の課題に対応するため、スクールカウンセラー（SC）を県内全中学校区に配置します。また、スクールソーシャルワーカー（SSW）を増員し、学校の要請に応じて派遣するとともに、県立学校7校を拠点にSSWが地域の中学校区を巡回し、SCや生徒指導特別指導員とチーム支援を行い、多様な背景による課題の解決に取り組みます。
- ② **いじめ・不登校対策事業** 2,003 千円
子どもたちの豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの生き抜く力を育成する魅力ある学校づくりについて調査研究を実施します。また、組織的な指導体制構築のための研修を校種別に実施するとともに、ソーシャルスキルトレーニングや生徒の主體的な活動等により、児童生徒の社会性等を育成します。
- ③ **道徳教育総合支援事業** 5,995 千円
道徳の特別教科化に向けて、学校の教育活動全体で学校・地域の実態に応じた道徳教育を進めるため、引き続き、市町教育委員会等を支援します。また、道徳教育推進委員会での提案等もふまえ、道徳教育の充実につなげます。

- ④ 高校生等教育費負担軽減事業 4,042,534 千円
 就学支援金や奨学給付金等を支給し、高等学校等における保護者等の教育費負担の軽減を図ります。

- ⑤ (一部新) 学校防災推進事業 24,679千円
 防災ノートを新入生等に配付するとともに、体験型防災学習等の支援、学校防災リーダー等教職員を対象とした防災研修、中高生による東日本大震災の被災地でのボランティア活動や交流学习を実施します。また、大規模災害時に孤立する恐れがある県立学校に備蓄している食料の更新を行います。

- ⑥ 校舎その他建築費 1,006,312 千円
 県立高等学校の施設について、屋内運動場等の天井等落下防止対策、老朽化対策など防災機能の充実、教育環境向上のための整備等を進めます。

3 事業の見直し

	事業本数	事業費
廃止	5本	▲ 14,290 千円
リフォーム	5本	▲ 28,246 千円
休止	1本	▲ 40,000 千円
合計	11本	▲ 82,536 千円